

第4号様式（第9条関係）

令和8年 4月 1日

日進市議会議長 宛て

議員名 加納 やすこ

令和7年度政務活動費収支報告について

日進市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 加納 やすこ

1 収 入
政務活動費 150,000 円

2 支 出 83,563 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	83,563	8月27日、28日フォーラム参加費、視察費、交通費、宿泊費
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
合 計	83,563	

3 残 額 66,437 円

参考 第1号様式

政務活動事業実績報告書

議員氏名 加納 やすこ

令和7年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

年 月 日	事 業 名	事 業 概 要 及 び 成 果 等
令和7年 8月27日 ～8月28日	第20回 全国市議会 市議長会 研究フォーラム	別添「調査視察地等の報告書のとおり」

(注) 使途基準の項目別に記載すること。

調査視察地等の報告書

令和7年10月1日

日進市議会議長 福安 淳也 様

議 員 名 加納 やすこ

実施年月日

令和7年8月27日から

令和7年8月28日まで

2日間

行き先

①札幌文化芸術劇場 hitaru

②恵庭市・千歳市

道と川の駅花ロードえにわ

道の駅サーモンパーク千歳

目 的

1. 第20回全国市議会市議長会研究フォーラム

①地方議会議員のなり手不足対策、②主権者教育と議会 DX の実践事例収集、③日進市「議会報告会」の再設計に資する運営・ルール設計の示唆獲得

2. 道の駅現地視察

【道と川の駅花ロードえにわ】

花・水・緑・食・買い物を楽しめ、年間100万人以上が訪れ、バリアフリーの店内で小さなお子様連れの方・車椅子の方にも過ごしやすい道の駅であり、某観光情報誌の「道の駅ランキング」で、毎年上位にランキングされている。

【道の駅サーモンパーク千歳】

北海道の食文化・観光資源を日本・世界へ発信する施設である。我が街にできた道の駅に関連して参考とすべく視察する。

【報告事項】

1. 全体概要

■ 開催の位置づけ・規模

全国の市議会関係者が一堂に会し、議会機能強化や人材確保を中心議題に据えた年次フォーラム。会場は札幌文化芸術劇場（hitaru）ほか中継会場を活用し、約2,500名規模で運営。来賓挨拶では、全国的な豪雨被害等への配慮とともに、自治体間連携の重要性が強調された。

■ 開会・開催地挨拶の要点

札幌市側からは、都市の魅力（多様な文化イベント、スポーツ、産業集積のポテンシャル）を背景に、政策課題を越境的に議論する場としての役割が言及。来場者体験の設計（署名ブース、物産販売、複数会場中継）を通じて、市民との接点づくりと開催地PRを両立させる運営工夫が示された。

■ プログラム構成の骨子

① 来賓・主催者挨拶／② 基調講演（制度史と現行制度の課題）／③ パネル・課題討議（なり手不足、議員処遇、主権者教育、議会DX、人口減少下の行財政）／④ 市内外視察という流れ。制度論（解散権、二代表制の運用）から現場の実装論（教育・DX・運営）まで、理念→制度→実装の三層で議論が展開された。

■ 視察・実地事例の紹介

受入側議会の教育・広報の連続設計（議場見学の恒常運用、学校単位での公開、キッズページ、自由研究チラシ配布等）が共有され、“一回で終わらせない”仕組みが各セッションに通底するキーワードとなった。

2. 主要論点

(1) なり手不足の実像と背景

社会の政治参加意識の変容、選挙制度や政党公認権の集中、地方議会の“見えにくさ”が複合要因。特に立候補・活動コストの高さ（会費、事務所維持、選挙経費の継続的負担）と兼業の難しさが参入障壁。

(2) 議員処遇・社会保障（厚生年金・保険）の課題

退任・離職期に国保負担等が急増するリスクがなり手不足を加速。対策として厚生年金加入を求める意見書可決が各地で進展（2025年7月10日現在で815市中554市・68.0%）。

(3) 議員活動の可視化と説明責任の再設計

地域連携・課題解決・政策立案に費やす“見えない仕事”の比重が高い一方、広報が断片的で成果とプロセスの紐づけが弱い。活動KPI（提案採択率、地域調整件数、住民満足）等の定期公開で、処遇議論の前提となる可視化を整備。

(4) 主権者教育の“連続モデル”

札幌市議会の実践（議場見学の恒常運用、学校名・人数の公開、キッズページ、夏休み自由研究チラシ、子ども教室、体験塾）により、単発イベント→継続学習→次の関与へと段階的に参加を引き上げる。学校・地域・メディアの連携がカギ。

(5) 議会DX：情報と参加の“両利き化”

資料の電子化・検索性の向上・チャプター配信により情報到達度を高め、オンライン参加・拠点傍聴（学校・公共施設）で参加母集団を拡張。子育て・介護層や二地点・多拠点での参加を可能にする制度設計。

(6) 二元代表制・制度論（基調講演の示唆）

解散権（憲法69条・7条）の運用、議会と首長の緊張関係、地方分権以後の財政配分（交付税・補助金）。議会事務局の独立性・専門性と研究・調査機能の強化が不可欠。

(7) 人口減少下の行財政の再設計

人口が減っても、インフラ保全、福祉、防災、人材不足対応、標準化などで行政事務はむしろ増える領域がある。単純削減論は短絡的で、都道府県・近隣自治体との広域連携や機能の共同化、説明責任の強化が必要。

(8) オンライン出席・規則整備の方向性

委員会等における遠隔参加の容認は、憲法上の「出席」の解釈整理を要しつつも、中長期的に制度化が進む可能性。段階導入（要綱→会議規則→本則）が現実的。

3. 「わがまち」の課題認識

現行の議会報告会は、「議会→市民の一方通行の説明」と「個別案件の賛否対立」が混在し、糾弾型に偏る設計がある。特定の反対運動の場で保守系議員がやり玉に挙げられる構図は熟議を損ない、信頼形成に資さない。まず開催趣旨を再定義し、説明（アカウンタビリティ）と熟議（合意形成）を分離した上で、“対立の舞台”から“合意の工房”へと設計を転換する。

4. 日進市への示唆（実装指針）

A. 開催趣旨

本報告会は、議決事項と審査過程の説明責任を果たし、次期政策課題に関する合意形成を進める「熟議の場」。個人・会派に対する糾弾・威圧・妨害は趣旨に反し、運営ルールにより制限。

B. 二層構造のプログラム

・レクチャー層（30分）：定例会の要点・費用対効果を中立テンプレで解説（章立て資料／チャプター動画）。

・熟議層（60-75分）：小グループ×第三者ファシリ（大学・NPO）でテーマ別討議→「合意／未合意／宿題」を当日可視化・記録。

C. 公平・秩序を担保する運営ルール

- ・発言1回2分、再発言は全員一巡後／ヤジ・個人攻撃の禁止を司会が即時制止
- ・同趣旨は束ねて回答、異なる観点に均等時間
- ・登壇のローテーションで会派バランスを確保
- ・事前・当日とも記名カード＋オンライン受付、議事要旨とアクション宣言を公開

D. 参加者の偏り対策

- ・公募＋無作為抽出（抽選枠）のハイブリッド／属性クォータ設定／託児・手話・夜間・オンライン併用

E. 処遇・制度面のフォロー（議会決議・意見書）

- ・厚生年金加入の意見書を議会として提出／採択済みなら国会議員への要請計画を可視化（採択率68.0%の全国動向を根拠に）。
- ・議員活動KPIの公開（地域連携件数、政策提案採択率、住民満足度等）で、“見えない仕事”の可視化。

5. 議会DXロードマップ（段階導入・12～24か月）

- ・① 定例会ごとの3分ダイジェスト（PDF/動画/音声）
- ・② 検索性の改善（質疑検索、チャプター配信）、参加拠点（学校・公共施設）からの傍聴拡張
- ・③ オンライン参加の制度設計（委員会等の遠隔出席要件・採決手順の明文化）

6. 即実行プラン

- ・開催趣旨・運営ルール：本案を基に議運で条文化
- ・テンプレ資料：①1枚サマリー（議決一覧・主要KPI）、②チャプター動画（3-5分×3）
- ・第三者ファシリ導入
- ・可視化KPI：参加属性バランス、発言偏在度、攻撃的発言比率、「合意事項の30日後進捗」
- ・意見書（素案）：地方議会議員の厚生年金加入の早期実現（採択率68.0%の全国動向を明記）

7. 所感（まとめ）

札幌の実践に学ぶべきは、“一回きりにしない設計”（議場見学・教材・情報公開の連続性）である。

主権者教育については一般質問でも言及しているが、小中学生向けに夏休みやラーケーションの日を利用して見学会など開催したりするだけでも意味のあるものになると考える。

議会報告会については再設計の段階に移行し、説明責任と合意形成を両輪化することで、対立の舞台化を回避し、なり手不足の根（理解・誇り・参加機会）にアプローチできる。

道の駅現地視察について

1. 視察の位置づけ・目的

本報告は、第20回 全国市議会議長会研究フォーラム終了後に主催者が設定した現地視察に参加し、日進市が開駅したばかりの「道の駅 マチテラス日進」に活かす示唆を抽出する目的で実施したものである。視察先は「道と川の駅 花ロードえにわ」（恵庭市）および「道の駅 サーモンパーク千歳」（千歳市）の2施設である。

2. 視察先① 道と川の駅 花ロードえにわ（恵庭市）

■ 概要

- ・国道36号と漁川の交差点という好立地に位置。札幌-新千歳空港動線の間にある、交通結節点の性格を持つ。
- ・「花・水・緑・食・買い物」を楽しめる複合機能を備え、年間100万人以上が来訪。店内はバリアフリー設計で、小さな子ども連れや車椅子利用者にも使いやすい。
- ・明るく開放的な飲食スペース、地元食材（恵庭産放牧豚“こな雪とんとん”等）を活かした飲食・物販、約4,000種の土産商品構成。
- ・駐車場規模（目安）：普通車400台超／大型25台、授乳室・多目的トイレ・Wi-Fi等の基礎設備を完備。

■ 現地での気づき（強み）

- ・① 館内“温室（コンサバトリー）”的な明るさと木質感-“滞在価値”につながる居心地設計。
- ・② モビリティ弱者への配慮-段差解消・広い通路・授乳室等の一体設計。
- ・③ 地元一次産業の“顔が見える”商品編集-放牧豚・ベーカリー・スイーツなどストーリー性のある導線。
- ・④ 休憩・回遊・購買の“セット設計”-飲食席から売場への視線・動線が自然に繋がる。

■ 課題／留意点（マチテラス日進への転用視点）

- ・季節・天候で来場体験が変動しやすい動線（温熱・換気・眺望）への対策を通年で最適化。
- ・4,000種規模の物販編集は在庫・人件費の負担が大きく、MD（商品編集）を段階導入で運用。
- ・空港動線という立地優位の代替-日進では名二環・東名・鉄道等の“近接交通資源”と連携した回遊モデル設計が必要。

■ マチテラス日進への具体提案

- ・A-1 滞在価値：大開口・木質・緑化を組み合わせた“半屋内テラス”を核に、カフェ席→物販への回遊性を高める。
- ・A-2 アクセシビリティ：通路幅・可動什器・授乳／多目的トイレ・貸出ベビーカー等の“実装チェックリスト”を策定。
- ・A-3 地産MD：市内農園・加工所の“顔が見える”編集（生産者POP、QR追跡）を標準装備。
- ・A-4 KPI：平均滞在時間、ベビーカー利用率、車椅子回遊ルート満足度、ベーカリー購買率-月次で公開。

3. 視察先② 道の駅 サーモンパーク千歳（千歳市）

■ 概要

- ・千歳市の玄関口に位置し、飲食・物販・イベントを通じて北海道の食文化や観光資源を発信する拠点。
- ・団体受入やフードホール機能など、多様な来訪者に対応するオペレーション体制を整備。

■ 現地での気づき（強み）

- ① “テーマ性”の明確さ-サーモンを起点に、食・学び・地域回遊を束ねるブランド設計。
- ② 団体・家族双方に配慮した座席配置と導線-ピーク時の回転率と滞在満足のバランス。
- ③ 多様なメニュー・土産編集-“北海道らしさ”の即時体験を提供。

■ 課題／留意点（マチテラス日進への転用視点）

- ・“テーマの核”を明確化：日進では“農×子育て×学び”や“防災×子育て”など、地域資源を束ねる一本軸を設定。
- ・団体対応：バス到着→トイレ→フード→物販の時間設計とバックヤード動線の最適化を事前検証。
- ・国際対応：多言語表示・決済・アレルギー表記の標準化。

■ マチテラス日進への具体提案

B-1 テーマ設定：「“農の学び場×ファミリーウェルカム”」-体験農園・食育イベント・親子ワークショップを通年化。

B-2 フードホール運営：ピーク制御（時間帯クーポン・回転最適化）と“地元一店看板メニュー”の育成。

B-3 インバウンド：学校交流・大学国際交流と連動した多言語ボランティア導入。

B-4 KPI：団体受入件数、平均客単価、回遊率（館外滞在→市内観光への送客）、多言語問合せ対応時間。

※団体受入れは本市道の駅では規模的に想定外である可能性が高いのであくまで本視察のまとめ程度にとどめる。

4. 2施設からの横断的学び → マチテラス日進の設計指針

- ① “滞在価値×回遊設計”：半屋内テラス／緑化／眺望を活かし、休憩→購買→体験→情報発信へ流れる導線を設計。
- ② “アクセシビリティ標準”：段差解消・通路幅・授乳室・多目的トイレ・ベビールートのサイン・ベビーカー貸出。
- ③ “地産×編集力”：市内農産・加工・菓子のストーリー編集と在庫最適（ABC分析／季節シフト）。
- ④ “KPI公開”：滞在時間、購買率、団体受入、子育て支援利用、アクセシビリティ満足などをダッシュボード化。
- ⑤ “イベント設計”：季節の花・農・学びの三本柱で月次カレンダーを運用（繁忙・閑散の平準化）。

参考 第3号様式（第13条関係）

令和7年度政務活動費会計帳簿

NO1

議員氏名 加納 やすこ

（単位：円）

年月日	摘 要	収 入	支 出	残 高	科 目	領 収 書 番 号
2025/4/18	令和7年度交付分	150,000		150,000		
2025/6/9	フォーラム交通費 セントレア←→新千 歳空港		46,763	103,237	調査研究費	1
2025/8/14	フォーラム参加費		9,000	94,237	調査研究費	2
2025/8/18	フォーラム宿泊費		11,500	82,737	調査研究費	3
2025/8/26	フォーラム視察費		12,000	70,737	調査研究費	4
2025/8/27	フォーラム交通費 米野木→セントレア		1,500	69,237	調査研究費	参考第2号様式
2025/8/27	フォーラム交通費 千歳空港→札幌文化 芸術劇場		1,300	67,937	調査研究費	5
2025/8/28	フォーラム交通費 セントレア→米野木		1,500	66,437	調査研究費	参考第2号様式
合 計		150,000	83,563	66,437		

参考 第6号様式

旅費精算内訳書

氏 名	加納 やすこ
目 的	第20回全国市議会市議長会研究フォーラム
行 き 先	札幌市、恵庭市、千歳市
期 間	令和7年 8月 27日 ～ 令和7年 8月 28日 （1泊2日）

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
8 / 27	地下鉄	米野木 → 金山	590
	鉄道	金山 → 中部国際空港	910
	飛行機	中部国際空港 → 新千歳空港 (往復料金)	46,763
	バス	新千歳空港 → 札幌文化芸術劇場	1,300
8 / 28	飛行機	新千歳空港 → 中部国際空港	—
	鉄道	中部国際空港 → 金山	910
	地下鉄	金山 → 米野木	590
		←→	
/ 		←→	
		←→	
		←→	
		←→	

交通費小計	51,063 円
宿 泊 料	11,500 円
実績合計額	62,563 円
政務活動費充当額	62,563 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、ＪＲ、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

参考 第2号様式（第9条関係）

領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書

支出年月日	支出の金額 (円)	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徴し難かった事由
2025/8/27	590円	乗車券	自動発券機で購入のため
2025/8/27	910円	乗車券	自動発券機で購入のため
2025/8/28	910円	乗車券	自動発券機で購入のため
2025/8/28	590円	乗車券	自動発券機で購入のため

議員氏名 加納 やすこ

注「支出の目的」の欄には、支出の目的（乗車券、講師謝金等）を記載ください。

①



JAPAN AIRLINES

Web 40db2ec5a777ac9caf12b48e74343d96
2026年03月31日 14:17発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

日進市議会議員 加納靖子 様

金額 46,763円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312227035881
航空券/料金券発行日	2025年6月9日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

日本航空株式会社

この領収書は電子で発行しました。

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

イワブチアキヒサ 様

2025年8月27日 (水) 運賃：往復セイバー

○ 09:25 名古屋 (中部)	クラス：普通席
○ 11:10 札幌 (新千歳)	便名：JAL3103

2025年8月28日 (木) 運賃：往復セイバー

○ 18:05 札幌 (新千歳)	クラス：普通席
○ 19:45 名古屋 (中部)	便名：JAL3116

46,763 円

* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

岩渕議員が会派で初めて
予約したため明細の宛先が
岩渕議員となっています。

合計金額 46,763円

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

令和7年8月14日

日進市議会議員 加納 やすこ 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 丸 子 善 弘

金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌の参加費として

令和7年8月27日・28日開催(札幌市)

③

領 収 証

日進市議会議員

加納 マサニ 様

No. 010567

2025 年 8 月 18 日

金額

¥ 11,500-

但し 8/17 日付代金として
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

8% (税込・税抜) 金額	消費税額等
10% (税込・税抜) 金額	消費税額等
¥ 11,500-	¥ 1,045-

近畿日本ツーリス

株式会社ジェイエ

〒470-0113

愛知県日進市栄2丁目160

TEL.0561-73-3070 FAX

1号

登録番号 T9180001067013

⑤

No. 014914

運賃領収証

収 入
印 紙

日進市議会議員 加納 マサニ 様

金 額 | | ¥ | 1 | 3 | 0 | 0 (10%税込)

普通乗車券・定期乗車券・回数乗車券
代金として、上記の金額を領収致しました。

2025 年 8 月 27 日

北海道中央バス株式会社

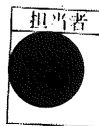
登録番号: T4430001050451

新千歳空港案内所

(ご注意)

1. この領収証は、普通乗車券、定期乗車券、回数乗車券の発売に関して発行するものです。
2. 領収印もしくは担当者印のないもの、金額の訂正してあるものは無効です。
3. 再発行は致しません。

担当者



領収証発行日: 2025年08月26日

1 / 2

収入印紙

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階

株式会社JTB 北海道事業部
事業部長

領収証番号: 325394317000121001

登録番号: T8010701012863

領 収 証

日進市議会議員 加納やすこ様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計 12,000円 (税込)

イベント名 第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

イベント会期 2025年08月27日 ~ 2025年08月28日

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	12,000円	1,090円 -
(10%対象)	12,000円	1,090円 -
(8%対象)	0円	0円 ※1
(対象外)	0円	0円 ※2

入金額 12,000円

請求残額 0円

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。